

西小だより



学校の教育目標:よく考え 仲間とともに やりぬく子 合い言葉 "Yes, we can"

基礎を固め さらに鍛える

校長 岩崎 千宏



先週末はご多用の所、授業参観・PTA総会・学年懇談会にご参加いただき、誠にありがとうございました。新年度がスタートして1ヶ月となり、緊張気味だった子ども達も、新しい環境にすっかり慣れ友だちとの明るい会話の声がたくさん聞こえるようになってきました。授業中での真剣なまなざしや、仲間の意見をじっと聴く姿から新たな決意や目標が垣間見えます。

子ども達が安心・安全に過ごせるよう、この1ヶ月の間に命を守る訓練、交通安全教室、内科検診などの活動を実施しました。地域の皆様には、安全な登下校の見守りをいただきながら、分団のご指導を

いただき厚く御礼申し上げます。今月は、家庭訪問や緊急時児童帰宅訓練を計画しております。家庭や地域との連携・協力のもとに、一人一人のお子様の命を守り切ることこそが、「笑顔にあふれる学校」の基盤となります。引き続き、ご協力の程よろしくお願いたします。

さて、5月は生活や学習の基礎を固める時期です。ゴールデンウィークを過ぎると、ともすると生活や学習の緊張感が緩んでしまいがちです。4月に身に付けた生活や学習の基礎・基本を再度確認しながら、定着させる指導を大切にしたいと考えています。

入学式の式辞の中では、こんな話をさせていただきました。

立派な小学生になった皆さんに約束してほしいことを一つだけお話しします。それは、「お話を聞く時には、お話をしている人の目を見て聞く」ということです。

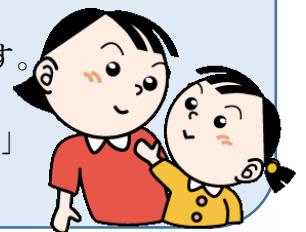
先生のお話をじっくり聞ける子は、かしこくなります。

お友だちの話が聞ける子は、やさしくなります。

お兄さんやお姉さんの話が聞ける子は、きまりが守れる子になります。

お父さんやお母さんの話が聞ける子は、素直な子になります。

ですから、「お話をしている人の目を見て、自分の耳と目と心でお話を聞く」ことは、立派な小学生になるために大切なことなのです。



聞くこと・話すことは、学習の基礎・基本であり、元気なあいさつは生活の基礎・基本です。より質の高い基盤を固め、地域や保護者の皆様と共に、さらに鍛える5月をめざします。

新緑の美しい季節となりました。どうか、お子様と共に「感動が共有できる」ゴールデンウィークをお過ごしください。